

読売新聞共催オープン講座
明治大学安全学研究所共催

暮らしの安全、食の安全を考える

コーディネータ

むかいどの まさお

向殿 政男

明治大学理工学部教授

会場／明治大学生田キャンパス
中央校舎6階メディアホール

開場13:30 開講 14:00～15:40

講座趣旨

明治大学ではこれまで、安全学という新しい取り組みを提案し、安全学研究所において数多くの公開講座を実施してまいりました。持続可能な社会が求められている現在、社会の幸福を実現するための価値観として時代は安全・安心を求めています。安全・安心な社会を実現するためには、自然科学的に安全を実現するだけでなく、社会科学や人文科学も含めて考察する必要があります。本講座では理工学部・農学部がある生田キャンパスにおいて読売新聞横浜支局と共催し、私たちの暮らしに密接に関係する「暮らしの安全、食の安全を考える」というテーマのもとに、安全とは何かという理念的な面から環境問題にいたるまで、幅広く安全のあり方について取り上げます。

最先端の研究・教育が展開されている「大学」は、地域の貴重な財産だと思います。国内で最も多くの受験生を集める明治大学と読売新聞横浜支局が意気投合し、市民講座が実現しました。テーマは「暮らしの安全、食の安全を考える」。理工学部、農学部を擁する生田キャンパスの教授陣が、現代社会に生きる私たちにとって必要不可欠な知識を分かりやすく、熱く伝授してくれます。同じ問題意識から長期連載「食ショック」「環境ルネサンス」を展開してきた読売新聞社としても、講座開始は実に感慨深いものがあります。主婦、学生ら市民一般、行政マン、NPO関係者、どなたでも気軽に楽しめる多彩な内容となっておりますので、家族、友人と誘いあわせのうえ、奮ってご参加ください。

読売新聞横浜支局長 佐伯 和宏 さえき かずひろ

お申し込み

※各回それぞれの申込が必要です。

■受講料 無料

■申込方法 事前予約制です(先着250名)

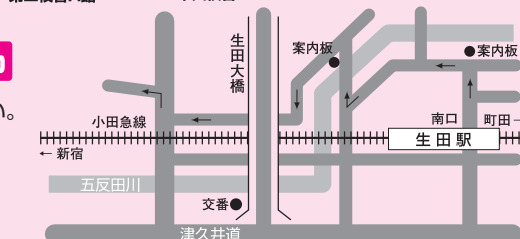
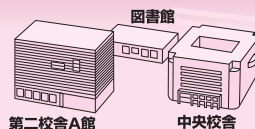
リバティアカデミー事務局までお申し込み下さい。

TEL 03-3296-4423 FAX 03-3296-4542 E-Mail academy@mics.meiji.ac.jp

●FAX・メールでお申し込みの方は、講座名、お名前、ご住所、電話番号をお送り下さい。
(明大生、リバティアカデミー会員の方はその旨ご記入ください)

●生田キャンパスは、小田急線「生田」駅 南口徒歩10分です。

●リバティアカデミーオープン講座は、会員の方以外も広く受講いただけます。



※各回それぞれの申込が必要です。

10月9日(土)

「安全学のすすめ」 安全の確立と安心への橋渡し



幸福で安らぎのある社会を実現するために、時代は安全・安心を求めています。安全は本来、理系と文系の両分野にまたがる領域横断的、総合的な学問として体系化されるべきで、これをここでは安全学と呼ぶことにします。本講座では、安全学の観点から、安全について、基本的なところから安全確保のための技術・組織・人間的な面まで、広い分野から安全を眺め、私たちが望んでいる安心へいかにつなげるかについて解説を致します。

むかいの まさお
向 殿 政男 (明治大学理工学部情報科学科教授)

10月16日(土)

「犯罪を防ぐにはどうするか」 データに基づく防犯対策



警察をはじめとした刑事司法機関の主たる役割は、犯罪の事後対策にあります。そのため、犯罪を未然に防ぐには、被害に遭いにくい状況づくりが求められています。しかし、それが行き過ぎると、窮屈な社会になるおそれがあります。無用な不安を抱えずに安全性を高めるにはどうするか。データに基づいた住まいとまちの防犯対策について分かりやすく解説します。

やまもと としや
山本 俊哉 (明治大学理工学部建築学科教授)

10月30日(土)

「環境問題について」 地球温暖化問題



地球規模の環境問題の中で最も被害の種類、範囲が広くかつ解決が困難な環境問題が地球温暖化問題です。この講義においては地球温暖化の現状、原因及び今後生じるであろう被害を述べるとともに、温暖化の問題をエネルギー問題としてとらえ、とるべき対策について、また市民としてなすべきことを受講生と一緒に考えていきたいと思えます。

きた の まさる
北野 大 (明治大学理工学部応用化学科教授)

11月6日(土)

「食の安全について」 遺伝子組換え作物はホントに安全!?



2008年の日本の食糧自給率は41%であり、先進工業国の中でも格段に低い。食料の多くを海外からの輸入に頼る日本は、十分な量の食料を確実に確保するとともに食料の「安全と安心」も確保しなければならない。食料輸出で広く栽培されている遺伝子組換え作物とはどのようなものなのだろうか?なぜ栽培されるのだろうか?本当に安全なのだろうか?そして、本当に必要なのだろうか?食の安全の問題について一緒に考えていきたいと思っています。

なかじま はるし
中島 春紫 (明治大学農学部農芸化学科教授)

11月13日(土)

「暮らしの中の安全を考える」 住まいに潜む“ひやり・はっと”



小さな子どもや高齢者にとって、「住まい」はまさに暮らしの中心です。安全で快適で、居心地のよい住宅・住環境が約束されてこそ、日々の生活が豊かで充実したものになります。ところが、その住まいで、思わぬことで「ひやり」「はっと」することが少なくありません。そうした“ひやり・はっと”の具体的な事例を取り上げながら、住まいをより安全に快適にするにはどんな点に気を付ければよいかを考えてみましょう。

そのだ まりこ
園田 真理子 (明治大学理工学部建築学科教授)

12月4日(土)

「地域における安全を考える」 地域協働の安全まちづくり



マグニチュード6以上の地震が今後30年間に70%の確率で発生します。火災と建物倒壊による死者が大半を占めます。被害を軽減するには、住まいとまちづくりを通じた防災対策が不可欠です。防災だけでなく、事故や犯罪の対策も地域における重要な関心事です。本講座の最終回は、地域協働の安全まちづくりのあり方と進め方について、具体事例を通して考えます。

やまもと としや
山本 俊哉 (明治大学理工学部建築学科教授)

入会・受講申込FAXフォーム (個人会員用)

法人会員のご入会については、お電話にて「法人会員案内」をご請求ください。

FAX 03-3296-4542 (TEL 03-3296-4423)

① 講座受講申込欄

はじめて入会・受講の方 ⇒ ① 新規入会 に○印をして、①講座受講申込欄 + ②入会申込欄 を記入

過去に会員であった方 ⇒ ② 再入会 に○印をして、①講座受講申込欄 + ②入会申込欄 を記入

*会員更新は、会員期間内(3月末日)のみ手続き可能です。会員期間を過ぎた場合(4月1日以降)は、再入会になります。

既リバティアカデミー会員の方 ⇒ ①講座受講申込欄 のみ記入

会員情報 ※既リバティアカデミー会員の方のみ記入してください。

会員番号	氏名	電話番号
------	----	------

お申込講座

NO	講座コード	講座名
1		
2		
3		

割引特典申告欄 該当項目の数字を○印で囲み、必要事項を記入してください。お申し込みの際に申告のない場合、割引特典は受けられません。

- 明治大学カード会員 カードブランド: UCカード DCカード NICOSカード
三井住友カード JCBカード
- 学生・生徒 [学校名: _____ /学部学科・学年 _____]
- 明治大学教職員 [所属: _____]
- リバティアカデミー特別会員 (明治大学120周年募金に協力し、特別会員証を授与された方)
- 福利厚生倶楽部会員、CLUB CCI会員、ふるむな倶楽部会員、Club Off Alliance
- ベネフィット・ステーション会員

② 入会申込欄

該当項目について数字を印で囲んでください。

1. 新規入会 2. 再入会

私は、「リバティアカデミー入会と受講のご案内」(p76、77)を確認し同意したので、入会を申し込みます。

フリガナ			
氏名			再入会の方: 旧会員番号
〒			
連絡先住所			
<input type="checkbox"/> 自宅			
<input type="checkbox"/> 勤務先	電 話	F A X	EMAILアドレス
	携帯電話		
性別	男 女	生年月日(西暦)	年 月 日
勤務先名		所属部課	役職
学校名		学部・学科	学年

ご自身にあてはまる項目について、数字を○印で囲んでください。

- 職業 1.大学生・大学院生 2.専門学校生 3.会社員 4.会社経営・自営 5.学校/医療・福祉関係 6.公務員
7.専門職(会計士等) 8.アルバイト・派遣社員 9.主婦 10.無職 11.その他

ご興味・ご関心のある分野について、数字を○印で囲んでください。(3つまで)。

- 1.考古学 2.日本史 3.博物館 4.世界史 5.音楽 6.絵画 7.文章表現・創作 8.日本文学 9.映画・写真
10.外国文学 11.伝統文化 12.福祉・介護 13.教育心理学 14.環境 15.バイオ・農務 16.外国語会話
17.旅行 18.NGO・NPO 19.政治・行政 20.経営 21.財務・金融 22.組織・人事 23.法律・法務
24.マーケティング 25.IT・情報 26.中小企業経営 27.MBA 28.起業・ベンチャー 29.資格取得
30.その他()

※入会だけのお申込はできません。必ず「①講座受講申込欄」をご記入ください。